

小児科学

責任者・コーディネーター	小児科学講座 千田 勝一 教授		
担当講座・学科(分野)	小児科学講座		
担当教員	千田 勝一 教授、小山 耕太郎 教授、遠藤 幹也 准教授、亀井 淳 特任准教授 高橋 信 講師、石川 健 特任講師、赤坂 真奈美 特任講師、松本 敦 助教 外館 玄一郎 助教、早田 航 助教、和田 泰格 助教、佐々木 朋子 助教		
対象学年	3	区分・時間数	講義 21.0 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

小児科学は、成長と発達の過程にある小児を対象として、その身体と心の問題を扱うものである。従って、その領域はきわめて広く、胎児期、新生児期から思春期までのすべての医学領域の知識が求められる。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

ここでは、各臓器別講義における小児疾患の系統講義とは異なって、遭遇することが多い症例（paper patients）を前もって与え、それについて自らが病歴、診察所見、検査所見を総合的に分析・評価することで、診断に至る思考過程と治療方法を学ぶ。

・到達目標（SBO）

1. 小児の診察法の要点を説明できる。
2. 病歴から問題点を明確化し、診察の要点を説明できる。
3. 病歴と診察所見から鑑別診断を挙げられる。
4. 鑑別診断に必要な検査計画を立てられる。
5. 病歴と診察所見、検査所見から、適切なプロブレムリストを立てられる。
6. 与えられた症例に関して、診断ができる。
7. 与えられた症例に関して、基本的治療計画を立てられる。
8. 診断に至る思考過程を論理的に分かりやすく発表できる。

・ 講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
11/12	木	3	小児科学講座	千田 勝一 教授	小児の診察法 ・ 小児の系統的診察法 ・ 小児期の呼吸数、脈拍数、血圧
11/12	木	4	小児科学講座	千田 勝一 教授	新生児疾患 ・ 呼吸窮迫 ・ 黄疸
11/19	木	3	小児科学講座	松本 敦 助教	先天異常 ・ light-for-dates 児、特異的顔貌 ・ マスクリーニングの異常
11/19	木	4	小児科学講座	和田 泰格 助教	内分泌・代謝疾患 ・ 低身長 ・ 意識障害
11/26	木	3	小児科学講座	早田 航 助教	アレルギー・免疫疾患 ・ 易感染性 ・ 呼吸困難
11/26	木	4	小児科学講座	高橋 信 講師	膠原病等 ・ 発熱、関節痛 ・ 発熱、発疹
12/3	木	3	小児科学講座	外館 玄一郎 助教	感染症 ・ 発熱、嘔声 ・ 頸部腫瘤、発熱、咽頭痛
12/3	木	4	小児科学講座	小山 耕太郎 教授	循環器疾患 ・ 酸素飽和度異常 ・ 心雑音
12/10	木	3	小児科学講座	佐々木 朋子 助教	消化器疾患 ・ 嘔吐、血便 ・ 発熱、腹痛
12/10	木	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	血液・腫瘍性疾患 ・ 倦怠感 ・ 腰痛、疲労感
12/17	木	3	小児科学講座	石川 健 特任講師	腎疾患 ・ 発熱、浮腫 ・ 浮腫

12/17	木	4	小児科学講座	赤坂 真奈美 特任講師	神経・筋疾患 ・発熱、けいれん ・けいれん
12/21	月	3	小児科学講座	亀井 淳 特任准教授	精神・心身医学的疾患 ・言葉の遅れ ・るいそう
12/21	月	4	小児科学講座	千田 勝一 教授	救急疾患 ・咳 ・けいれん

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	標準小児科学 8 版	内山聖 監修	医学書院	2013
参	Nelson Textbook of Pediatrics 19th ed.	Kliegman RM, et al.	Elsevier Saunders	2011

・成績評価方法

試験 100%により評価する。

・特記事項・その他

診察法	1 回	小児の診察法、小児期の呼吸数、脈拍数、血圧の基準値
新生児疾患	1 回	新生児の分類・生理・蘇生法・管理症、成熟度評価法、呼吸窮迫の鑑別、低出生体重児、マイクロバブルテスト
先天異常	1 回	単一遺伝子病の種類と特徴、染色体異常症、片親性ダイソミー、奇形症候群、light-for-dates 児の分類と合併症
内分泌・代謝疾患	1 回	マスキング、先天代謝異常症の症候と鑑別、性分化・成熟異常、低身長、内分泌疾患の症候と鑑別、意識障害の鑑別
アレルギー・免疫疾患	1 回	生体防御機構、免疫系の発達分化、免疫学的検査、免疫疾患、予防接種、アレルギー反応の分類、アレルギー疾患の診断と治療
膠原病等	1 回	膠原病と類縁疾患、副腎皮質ステロイド薬・免疫抑制薬の副作用
感染症	1 回	発疹性疾患の鑑別と合併症、感染性疾患、学校伝染病、リンパ節腫脹、呼吸器疾患、呼吸困難の鑑別、酸素・人工換気の適応
循環器疾患	1 回	動脈管依存性心疾患の分類と鑑別、心疾患の症候と鑑別、心不全の診断・治療、小児心電図の判読、不整脈
消化器疾患	1 回	消化器疾患の症候と鑑別、緊急の診断・治療が必要な消化器疾患
血液・腫瘍性疾患	1 回	血液疾患の症候と鑑別、貧血の鑑別、白血病・腫瘍性疾患の診断・治療
腎疾患	1 回	腎機能検査、腎疾患の症候と鑑別
神経・筋疾患	1 回	母子感染、年齢による細菌感染症の特徴、神経疾患の症候と鑑別、けいれんの鑑別と治療
精神・心身医学的疾患	1 回	小児の成長・発達・栄養の評価と異常を来す疾患、健診の月齢別重点項目、言語発達遅滞の鑑別、発達障がい、心身症

救急疾患	1回 小児の救急疾患、特に誤嚥、誤飲、薬物中毒、溺水、熱傷、熱中症、虐待の発生状況と治療方針、予防
------	---

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
	パソコン	1	症例・スライド作成